

# おねんじゅおててに

## ■ 楽曲データ

歌詞：小谷蓮乗 作詞

楽曲：樋口信雄 作曲

発表：—

初演：—

初出：—

管理番号：M0912

## ■ 創作の経緯

創作の経緯等は不明。

## ■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集 こども編』第1巻収録

底資料：『佛教讃歌 こどものうた』 本願寺出版協会 1973年

比較資料：『幼児向け仏教讃歌 ほとけのこどものうた』 本願寺出版社 1996年

校訂の詳細：特になし

## ■ 解説

《おねんじゅおててに》は、お参りの風景を歌った仏教讃歌です。この楽曲を通じて、お念珠をもつことやお仏参に親しんでいただければと思います。

### ◆ 歌詞について

この作品は、歌詞の内容から、お仏参の雰囲気づくりに適した楽曲として、「幼児のおつとめ」の冒頭で歌う「讃歌」に推奨されています。

歌詞には、「お念珠を手にかける」「両手を合わせる」「拝む」といった、お仏参の仕草（作法）が取り入れられています。練習では、歌いながら、実際に仏さまの前でお念珠を手をかけ、手を合わせてみましょう。そうすることで、仏さまにお参りするときの約束ごとが、からだに馴染んでいくのではないのでしょうか。

作詞の小谷蓮乗（1919～2000）は、幼稚園の園長として、「まことの保育」に深く関わりました。「阿弥陀さまを敬う心を深めてゆくうえで重要な活動」として音楽活動を重視し、幼児向け仏教讃歌のレコードを企画するなど、力を注ぎました。《おねんじゅおててに》は、1971（昭和46）年に刊行されたレコードに収録されています。

### ◆演奏のヒント

この楽曲は、伴奏も含めて、メゾ・ピアノで演奏するよう指示されています。お仏参で用いるときはもちろん、そのための練習でも、丁寧に歌うことを心がけましょう。

曲の前半は旋律に動きがありますが、3行目「みほとけさまがおっしゃるよ」は、同じ音が連続しています。話している口調がそのまま歌になったような部分なので、やさしく、語りかけるように歌ってみましょう。そして最後の1行は、仏さまから園児への呼びかけです。前の部分とは、雰囲気や抑揚の変化をつけて歌ってみてはいかがでしょうか。

### ◆音源について

音源は、CD『ののさまといっしょ ほとけのこどものうた』に収録されています。

解説執筆：山口篤子（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

※本解説は、「仏教讃歌」No. 80（保育連盟機関誌『月刊保育資料 まことの保育』第684号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.